

資料提供

県と同時提供

平成31年4月25日



担当課	保健対策課
担当者	豊田
電話	(073) 488-5118
内線	

6月1日から7日は、「HIV（エイズ）検査普及週間」です。

～知っていますか？HIV・エイズのこと～

「HIV（エイズ）検査普及週間」とは、HIV検査・相談体制の充実及び普及啓発を目的として、厚生労働省が制定しています。

和歌山市保健所では、HIV検査普及週間において、HIV即日抗体検査及びHIV又はエイズに関連するキルトを展示する等の普及啓発を行います。

<HIV即日抗体検査>

- 1 日時 平成31年5月30日（木）午後5時～午後7時
- 2 実施内容 定員：先着10人（予約制）
費用：無料・匿名の検査です。
* HIV即日抗体検査は、その日のうちに結果が判明します。
(※追加・確認検査が必要な場合、結果通知は後日になります。)
- 3 場所 和歌山市保健所（和歌山市吹上5丁目2番15号）1階
- 4 予約・問合せ先
和歌山市保健所 保健対策課 感染予防対策班：073-488-5118

<知っていますか？HIV・エイズのこと>

- 1 日時 平成31年5月30日（木）午後5時～午後8時
- 2 実施内容 メッセージキルトの展示 パネルの展示
パンフレットの配布 いろいろなコンドームの展示
クイズリレー（粗品付） 参考DVDの放送
その他（個別相談やコンドーム実習など）
- 3 場所 和歌山市保健所（和歌山市吹上5丁目2番15号）1階

HIVとエイズについて、正しい知識と予防行動の普及啓発を図るとともに、夜間に即日抗体検査を実施することで検査機会の拡大を促進するための取り組みです。

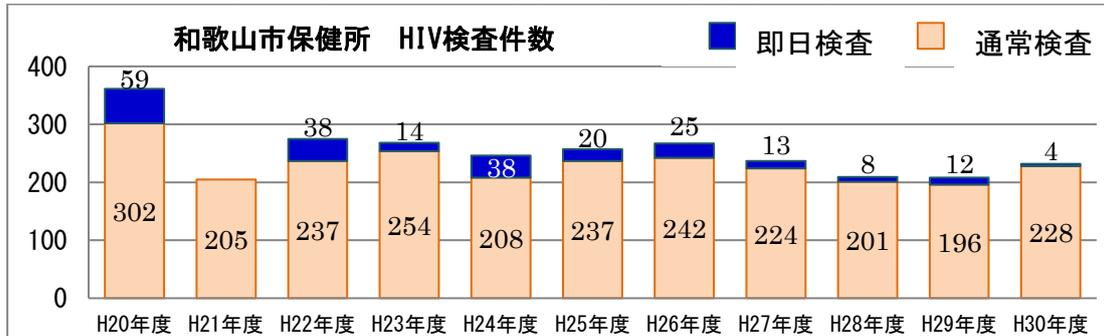
普段、検査受けることが難しい方にも検査をしていただけるよう機会を設けました。

ぜひ多くの方々にご参加いただけますよう、事業の周知にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

《参考資料》

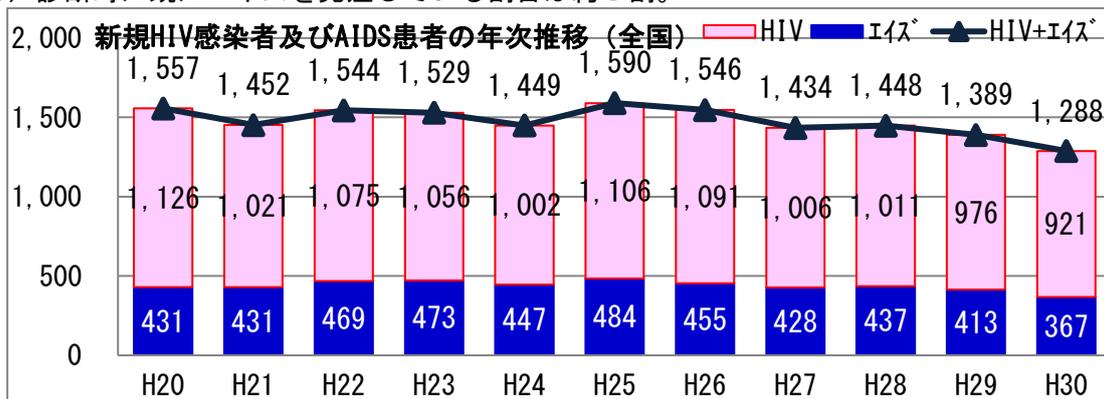
1 HIV・エイズとは

- (1) HIVとは、エイズを引き起こすウイルスの名称。
- (2) エイズとは、HIVの感染によって免疫（抵抗）力が低下し様々な症状が出た状況。
- (3) HIVは、感染しても症状がないことが多く、検査を受けない限り感染に気付かない。
- (4) 平成30年度の保健所におけるHIV抗体検査件数が、過去最多の平成20年度の件数より下回っている状況。⇒ 社会のHIVへの関心の低下が懸念される。



2 HIV・エイズの現状

- (1) 平成30年の新規HIV感染者・エイズ患者報告数（速報値）1,288件。
- (2) 診断時に既にエイズを発症している割合は約3割。



（エイズ動向委員会）

- (3) HIVの感染経路は、性行為、血液を介した感染、母子感染等があるが、8割以上が性行為によるもの。
- (4) 近年の抗HIV療法の進歩により、早期治療を開始した感染者は健常者と同等の生活を送ることができる。
- (5) 感染者及び患者の高齢化に伴う合併症発症の危険性の増大及び療養の長期化に伴う費用負担の増加という課題がある。

3 和歌山市保健所の取組み

- (1) HIV抗体検査（事前予約要）※結果は原則1週間後になります。
【実施曜日及び時間】火曜の18時～20時、木曜の9時～11時
- (2) 電話相談
【実施曜日及び時間】月～金曜（祭祝日は除く。）の8時30分～17時15分
- (3) 出前講座：主に高校性を対象に二次性徴、妊娠、性感染症、責任ある性行動等についての講演を行う。
- (4) 健康相談：文化祭等にブースを出し、個別相談等を行う。
- (5) HIV検査普及週間及び世界エイズデーに伴うHIV即日抗体検査の実施等。
- (6) 研修会：平成30年度は、学校教諭又は施設職員、保護者等を対象に実施。